



豚熱ワクチンの接種推奨地域が拡大

福島県会津若松市で東北初となる野生イノシシの豚熱感染が確認されたことを受け、福島県では9月14日から飼養豚への豚熱ワクチン接種が開始されました。

また、9月11日から宮城県及び山形県が新たにワクチン接種推奨地域に追加され、今後接種が開始される見込みです。



○ワクチン接種推奨地域とは？

農林水産省が野生イノシシにおける豚熱の感染状況、農場の環境状況等を考慮して指定するもので、指定地域では県が作成する接種プログラムに基づいた飼養豚等へのワクチン接種による防疫が可能となります。現在27都府県が接種推奨地域に指定され、ワクチン接種による防疫が行われています。

○豚熱のワクチン接種が行われると

- ①ワクチンが接種された豚、精液、受精卵の移動・流通は、接種地域内に限定されます。
- ②ワクチン接種農場の豚のと畜場出荷は、原則、接種地域内に限定されます。
- ③ワクチン接種による免疫付与状況を確認するための検査が行われます。

⚠️ 生産者の方へのお願い ⚠️

宮城県、山形県等のワクチン接種推奨地域から豚や精液を購入していた方は、今後流通が停滞することが予想されるため、購入先の再検討をお願いします。

農場への野生イノシシ侵入にご注意ください

近年、県内でも野生イノシシの目撃情報が増加しており、今年度はこれまでに4件、6頭の野生イノシシ目撃情報が寄せられています。

★本年度の県内野生イノシシ目撃情報

	目撃日	市町村	地区	目撃頭数
1	R2.5.19	青森市	内真部	1
2	R2.5.28	十和田市	奥瀬	1
3	R2.6.3	三沢市	淋代	1
4	R2.7.31	黒石市	浅瀬石	3

農場への侵入リスクが高まりつつありますので、衛生管理区域への防護柵、門扉の設置など、飼養衛生管理基準を遵守し、十分に飼養豚と野生イノシシの接触防止対策を講じましょう。



○野生イノシシの豚熱感染が確認された場合は？

- ①確保した地点の消毒及び、必要に応じて通行の制限・遮断が行われます。
- ②確保した地点から原則半径10km以内の農場への立入を行い、飼養豚の異常の有無を確認します。
- ③消毒終了後少なくとも28日間、周辺の農場に対し、豚の死亡状況の報告を求めるとともに、感染の拡大状況等を踏まえた豚の移動制限等が実施されます。